



□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□

□□□□□□□□□□□□ □□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□TEL.048(862)0355□□□□.048(866)0425

□□□□□□□□□□□□□□ TEL.026-235-1321

# 私たちの暮らしと 税制を考えよう!

～財源確保して社会保障の充実を～

財政や税制は、経済の発展や一部の企業等を潤すためのものではなく、すべての人が人間らしく生きることを支えることにこそ、その存在意義があるはずです。財源がないとして、教育、医療、介護、年金、障害、生活保護等の社会保障のあらゆる分野で削減を進めるのではなく、人間の暮らしを支える税制への転換が必要です。

先般、パナマ文書により、世界の元首や大企業がタックスヘイブン(租税回避地)を利用した税逃れを行っている実態が暴露されました。この文書には約400の日本の企業や個人の情報も含まれています。一部の企業等が課税を逃れ、その穴埋めを市民が迫るという不正な税のあり方は是正されなければなりません。

本集会では、基調講演をはじめ、社会保障の各分野からの報告、タックスヘイブンの間についての報告をいただきます。人間の暮らしを支える公正な税制への転換を求め、現場から声をあげていきましょう!多くのご参加をお待ちしています。

日時

## 7/30(土)

13:30から(12:30受付開始)  
資料代:1,000円

※お支払いが難しい方は入場時にお声をおかけください。  
無料で資料をお渡しします。

会場

### 信州大学工学部 C3棟(講義棟) 301番教室

長野市若里4丁目17番1号  
JR長野駅から路線バスあり(徒歩20分)  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html>

#### プログラム

##### 講演

**公正な税制を求める市民運動が、なぜ、今必要か**  
宇都宮 健児氏(弁護士、元日弁連会長、公正な税制を求める市民連絡会共同代表)

##### 当事者発言

**子どもの貧困、教育、医療、生活保護の現場から**

##### 基調講演

(仮テーマ)  
**財源を確保して社会保障の削減から充実へ**

講師 高端 正幸氏(埼玉大学准教授)

##### 報告

**パナマ文書とタックスヘイブンの間について**

講師 合田 寛氏(公益財団法人政治経済研究所理事)

